

# 「IRONMAN PHILIPPINES 2018」大会レポート

【開催地：フィリピン（スービックベイ） 開催日：2018年6月9日（日）】

## 今村 圭孝選手

### <レース結果>

距離 Swim 3.8km / Bike 180km / Run42.2km  
 TOTAL TIME 9:50:56  
 Age 35-39 DIV RANK 4位（日本人1位）Overall 13位

バイク FUJI NORCOM STRAIGHT 1.1（株式会社アキボウ）  
 ウエア Zoot  
 スピードスーツ Zoot  
 シューズ Zoot SOLANA  
 （以上、Zoot sports）  
 シューレース Greeper Laces（株式会社SUNNY FISH）  
 アイウエア OAKLEY レーダーEV（金栄堂）  
 メカニック 兼子サイクル、スクアドラ  
 補給食 PowerGEL、TOP SPEED（有限会社パワースポーツ）  
 サプリメント Astavita（アスタリール株式会社）  
 日焼け止め AthleteX（株式会社アミックグループ）  
 高濃度酸素水 Oxyshot（ティーアンドアール）  
 タイヤチューブ RACE A EV03（Panaracer）

### 【Swim】56:17

スイムスタートは、ウェーブスタートで比較的前の方からのスタート。海は穏やかで泳ぎやすいコンディションであったが生ぬるいプールに入っている感じだった。スタートしてすぐにスイムの先頭集団の2人が見えたが50mほど後方をマイペースで泳ぐ。後方に一人ぴったりくっついていて選手がいるのがわかっていたが、個人的にストレスを感じていたので先に行けーと思いルートを譲り一つ目のブイを回る。その後は誰に抜かれることもなく坦々と泳いでいたが、二周回目に入ると周回遅れの選手たちがいてその間を邪魔しないように縫うように泳いでいたのでここで少しタイムロスをしてしまいそのままスイムアップ。

### 【Bike】5:26:50

バイクのスタートはスイム会場のスービックベイからひと山越えてハイウェイに入っていく。ハイウェイに入るまでは路面が少し粗いがハイウェイに入ると路面も綺麗でスピードのって比較的楽に進むことができた。まず驚いたのは、DHバーの間に付けていたハイドレーションボトルに特製ドリンク入れていたのになぜか空になっていた。後でわかったのだが、ボトルの底のつなぎ目からドリンクが漏れていた。まだ使い始めて三レース目なのに・・・。

と、がっかりしてしまっただが、気持ちを入れ替えて先に進む。

今回のバイクコースではエイドが少なく、気温もあがり暑くなると思っていたので必ず水をもらうことに注意していた。

バイク折り返し手前で小雨になりその後からは豪雨、風も出てきてフロントが持って行かれそうになったがしっかり押さえつけてなんとか耐える。

二周回目に入って次第にアップダウンのダメージが出始め失速。

最後の登りを何とか頑張ってバイクフィニッシュ。

### 【Run】 3:19:45

ランに入ると調子がいいわけではなかったが熱くなりそうな日差しだったので、キロ4分ちょっとで走りながらこのまま行くか少し落として様子を見るか考え少しペースを落とす。ランではエイドが多いのでコーラを少し口に含み、水と氷でからだを冷やしながらか走る。

ランコースはアップダウンが多くじわじわときつくなってくる。前の選手を一歩一歩追いながら走るがなかなか差が縮まらない。

トラックを見ながら走れたらいいのになどいろいろ考えながら走っていると気温がぐんぐん上がってきて体が何も受けつけなくなり、エイドで体を冷やすことしかできなくなりそれと同時に失速。

その後も淡々と走っていると、沿道から3位、後ろが8分と教えてもらいそこからこのままではまずいと思い気持ちを奮い立たせてペースをあげる。

二周回目、最後の4キロという時に沿道から後ろが1分と声が出た、と同時に体格のいい外国人選手に勢いよく抜かれ、「その選手！ブラジル！」と声をかけられる。

スピードを上げてついて行こうとするが思うように走れず置いて行かれフィニッシュ。

フィニッシュ後は熱中症だったのか、午後9時まで選手休憩所でぐったりして動けなかった。

結果総合で13位、プロを抜かすと5位だったが、35-39では4位と残念な結果でしたが、次に向けもう動きだしています。

応援して頂いた方や、サプライヤー様ほんとうにありがとうございました。

今村 圭孝

